

# いしのまき 議会だより

平成25年5月14日発行

## 復興へ向けてさらに加速 新正副議長

- 議長・副議長就任のあいさつ …… ①
- 第1回定例会 平成25年度予算可決 …… ②
- 施政方針に対する質疑 …… ⑧
- 17人が一般質問で市政を問う …… ⑫



長倉利一副議長 阿部欽一郎議長

## 議長に阿部欽一郎氏 副議長に長倉利一氏

第1回定例会最終日の3月26日に、阿部和芳議長の議員辞職に伴う議長選挙が行われ、阿部欽一郎副議長が議長に選出されました。

また、阿部欽一郎副議長が議長に選出されたことに伴い、同日、副議長選挙が行われ、長倉利一議員が副議長に選出されました。

### 議長就任のあいさつ 阿部欽一郎 議長

この度3月定例会におきまして、議員各位のご推挙により議長に就任をいたしました。身に余る光栄であり、その責任の重さをひしひしと感じている次第であります。

東日本大震災から2年が経過しました。この間、苦しく辛いことがたくさんあったことと思います。将来に対する不安を抱えての日々、一方で自立し立ち上がり生活再建に取り組んでいる多くの方々があります。そうした逆境や苦難にもめげず、必死に頑張っている皆様の声を聞きながら、全力で復興対策に取り組みとともに、防災・危機対策を推進して、安全・安心な街づくりに努めてまいります。住宅再建、産業再生など課題は山積みしておりますが、今こそ英知を結集して課題解決を図っていかねければなりません。議会といたしましては、引き続き皆様のご期待に応えられるよう、不断の努力をまいります。

### 副議長就任のあいさつ 長倉利一 副議長

悪夢のような惨状を呈した東日本大震災から2年が経過しました。被災者の方々は、先の見えない不安な日々を過ごしているかに思われます。

私は第1回定例会で議員各位のご推挙を賜り副議長に就任いたしました。責務の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。阿部議長の女房役として、しっかりと補佐して参りたいと思っております。議会運営は公平・公正を旨として、開かれた議会を目指し、全身全霊を傾注し、この任にあたって参ります。

本市は最大の被災都市であります。世界復興モデル都市「石巻」の実現のため、議員各位の御協力を得ながら、この難局に立ち向かって参りたいと思っております。「ふるさと石巻」を一日も早く復興させ、市民が元通りの生活を早く取り戻せるよう全力で頑張りますので市民の皆様も共に頑張ってくださいませ。

平成25年度 石巻再生に向けた予算を可決

復興へ向けて加速の年

市民生活や産業の進展施策のための予算

当初予算 総額2、876億8千万円

平成25年第1回定例会は、2月26日から3月26日までの29日間にわたり開催され、市長の施政方針演説とこれに対する各会派の代表質疑が行われたほか、平成25年度各種会計当初予算をはじめ、条例、平成24年度各種会計補正予算、人事案件などの市長提出議案64件と委員会提出議案3件及び議会提出議案1件が提出されました。審議の結果、すべて原案のとおり可決されました。

また議会提出議案として、2020オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会の東京招致に関する決議が賛成多数で可決されました。



一般会計予算

の使いみち

歳入

市税は対前年度比42・7%の増となった。これは個人や法人市民税について、震災後の建設投資の増大

「復旧期」から「再生期」への円滑な移行を図り、復興を加速させることを基本とした平成25年度当初予算は、一般会計の総額が、2、260億円で、前年度当初予算に比べ372億円、14・1%の減となり、各種特別会計を含む総額は対前年度比11・6%減の2、876億8千万円となった。

歳出

防災集団移転促進事業、がけ地近接等危険住宅移

により、給与所得の増加及び建設業や不動産業など復興関連業種を中心とする企業収益の増収を見込んだことによる。地方交付税は、400億9千万円で対前年度比18%減、国庫支出金は800億1千万円で対前年度比52・2%減、県支出金は132億9千万円で対前年度比12・7%減、市債は111億3千万円で前年度比4・5%の増となった。

転事業、復興公営住宅整備事業、適応指導教室整備事業、市民球場スコアボード改修工事、石巻斎場改修、漁港・道路・学校施設等の災害復旧に要する経費などの投資的経費は、837億円、対前年度比23・1%増となった。

防災集団移転促進事業、復興公営住宅整備事業等の住まいの再建に関する事業や、避難タワーの整備等の防災関連事業、被災した漁港整備や雇用対策費等、引き続き震災復興関連事業を中心とし、厳選した予算となった。

### ■平成25年度当初予算の主な事業

災害派遣職員関係費	24億6984万円
生活保護各種扶助費	26億4273万円
東日本大震災援護費	25億8842万円
被災住宅再建資金利子補給事業費	13億2055万円
災害廃棄物処理業務費	684億8664万円
震災等緊急雇用対応事業費	18億6676万円
中小企業等融資関係費	14億4882万円
復興道路整備事業費	6億2100万円
渡波稲井線街路整備事業費	10億7600万円
復興公営住宅整備事業費	141億1441万円
防災集団移転促進事業費	391億9347万円
がけ地近接等危険住宅移転事業費	23億8500万円
避難タワー整備事業費	6億1050万円
被災生徒通学支援事業費	2億5354万円
高等学校統合整備事業費	11億6310万円

▼造成工事中の復興公営住宅整備予定地(新蛇田地区)



復興へ向け加速の年

大規模予算

平成25年度

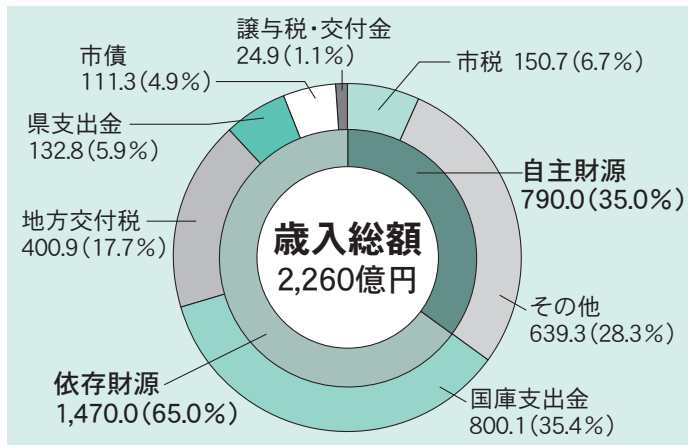
2,260億円

### ■平成25年度各種会計のあらまし

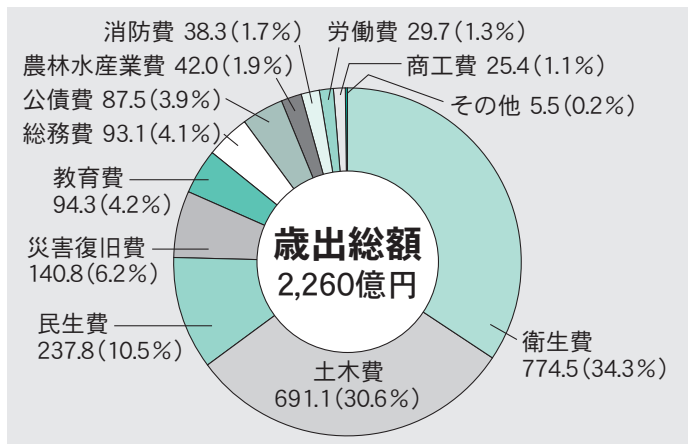
会計区分	予算額 (千円)	前年度比 (%)
一般会計	226,000,000	▲14.1
復旧復興分	169,090,360	▲19.4
通常分	56,909,640	6.4
特別会計	59,409,915	▲0.9
土地取得	1,001,325	▲89.2
水産物地方卸売市場事業	163,342	▲61.8
駐車場事業	22,469	0.3
下水道事業	19,339,749	10.5
漁業集落排水事業	20,170	▲29.4
農業集落排水事業	555,024	▲44.2
浄化槽整備事業	94,904	114.6
市街地開発事業	5,941,948	皆増
国民健康保険事業	19,573,910	▲1.0
後期高齢者医療	1,519,818	▲1.6
介護保険事業	11,177,256	7.9
病院事業会計	2,264,858	▲5.9
合計	287,674,773	▲11.6

### 〈一般会計予算の内訳〉

1 歳入 単位：億円



2 歳出(目的別) 単位：億円



# 第1回定例会に提出された議案と審議結果

(2月26日～3月26日開催)

## 条 例 (原案可決)

- ・東日本大震災による被災施設の廃止等に伴う関係条例の整理に関する条例
- ・石巻市議会政務調査費交付条例の一部を改正する条例
- ・集会所的施設における利用料金導入等に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・石巻市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市手数料条例の一部を改正する条例
- ・石巻市公民館条例の一部を改正する条例
- ・石巻市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市重度心身障害者等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例
- ・地域社会における共生の実現に向けて新たな障害保健福祉施策を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- ・石巻市老人憩の家条例の一部を改正する条例
- ・石巻市介護保険条例の一部を改正する条例
- ・石巻市印鑑条例の一部を改正する条例
- ・石巻市防災会議条例の一部を改正する条例
- ・石巻市生活改善施設等設置に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市都市公園条例の一部を改正する条例
- ・石巻市震災復興土地地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例
- ・石巻市営住宅条例の一部を改正する条例

## 予 算 (原案可決)

- ・平成25年度石巻市一般会計予算
- ・平成25年度石巻市土地取得特別会計予算
- ・平成25年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計予算
- ・平成25年度石巻市駐車場事業特別会計予算
- ・平成25年度石巻市下水道事業特別会計予算
- ・平成25年度石巻市漁業集落排水事業特別会計予算
- ・平成25年度石巻市農業集落排水事業特別会計予算
- ・平成25年度石巻市浄化槽整備事業特別会計予算
- ・平成25年度石巻市市街地開発事業特別会計予算
- ・平成25年度石巻市国民健康保険事業特別会計予算
- ・平成25年度石巻市後期高齢者医療特別会計予算
- ・平成25年度石巻市介護保険事業特別会計予算
- ・平成25年度石巻市病院事業会計予算
- ・平成24年度石巻市一般会計補正予算(10号)(11号)
- ・平成24年度石巻市土地取得特別会計補正予算(第3号)
- ・平成24年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第5号)
- ・平成24年度石巻市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成24年度石巻市下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成24年度石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
- ・平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
- ・平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- ・平成24年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第6号)
- ・平成24年度石巻市病院事業会計補正予算(第4号)
- ・平成25年度一般会計補正予算(第1号)

## そ の 他 (承認、原案可決)

- ・専決処分の報告並びにその承認を求めることについて

- ・財産の無償譲渡について
- ・財産の無償貸付けについて
- ・宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について
- ・公の施設の利用の廃止に関する協議について
- ・公の施設の利用に関する協議について
- ・工事請負の契約締結について  
(石巻(鹿立浜・竹浜)地区防災集団移転宅地造成工事)  
(牡鹿(鮫浦・前網浜)地区防災集団移転宅地造成工事)  
(雄勝(名振・大須)地区防災集団移転宅地造成工事)  
(北上(小室・小指・釜谷崎)地区防災集団移転宅地造成工事)  
(しらさぎ台三丁目地内法面災害復旧工事)  
(向陽小学校屋内運動場建設工事)  
(万石浦小学校屋内運動場建設工事)
- ・財産の取得について
- ・市道路線の認定について
- ・市道路線の廃止について
- ・市道路線の変更について

## 人 事 (原案可決)

- ・人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて

## 委員会・議会 (原案可決)

- ・石巻市議会基本条例の一部を改正する条例
- ・石巻市議会会議規則の一部を改正する規則
- ・石巻市議会委員会条例の一部を改正する条例
- ・2020オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会の東京招致に関する決議について(P7に詳細掲載)

## 第1回定例会 起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	議案第1号 2020オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会の東京招致に関する決議について	
		賛成	反対
1	阿部 久一	○	
2	丹野 清	○	
3	阿部 純孝	○	
4	黒須 光男	○	
6	高橋 左文	○	
7	山口 荘一郎	○	
8	大森 秀一	○	
10	水澤富士江	×	
11	阿部 欽一郎	○	
12	安倍 太郎	○	
13	遠藤 宏昭	○	
14	千田 直人	○	
15	櫻田 誠子	○	
16	渡辺 拓朗	○	
17	千葉 眞良	○	
18	阿部 正敏	○	
19	青山 久栄	○	
20	阿部 和芳	—	
21	西條 正昭	○	
22	庄司 慈明	×	
23	石森 市雄	○	
25	森山 行輝	○	
26	長倉 利一	○	
27	伊藤 啓二	○	
28	堀川 禎則	○	
30	阿部 政昭	○	
31	高橋 栄一	○	
32	後藤 兼位	○	
33	高橋 誠志	○	
34	阿部 仁州	○	
賛 成		27	
反 対		2	

※○：賛成、×：反対、△：欠席

※阿部和芳議員は議長であるため採決には加わりません。

# 第1回定例会で議決した議案の中から

## 可決された条例の中から

### ◆石巻市重度心身障害者等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

○医療費助成の受給資格を更新するには、毎年の申請行為が必要であったことから、対象者である重度心身障害者等に対して負担を生じさせていたため、更新の場合は、受給資格を担当課で確認して更新できるよう、本条例の一部を改正した。

### ◆石巻市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

○放課後児童クラブの利用対象者を小学校4年生までに拡大するとともに、余裕教室を利用して開北地区、万石浦地区及び大谷地地区に新たに児童クラブを設置することから、本条例の一部を改正した。

### ◆石巻市都市公園条例の一部を改正する条例

○東日本大震災の復興支援として、プロサッカー選手である本田圭佑氏によって総合運動公園内に人工芝のフットサルコートが設置され、本市に寄贈されることとなったことから、石巻市フットサルコートに係る規定を定めたもの。また、昨年8月に策定した「被災公共施設の再建（廃止）方針」に基づき、被災した雲雀野公園を廃止するため、本条例の一部を改正した。

## その他の議案から

### ◆財産の無償譲渡について

○石巻市河北福地林業者生活改善センターは、福地地区住民の集会所として地域コミュニティの形成・維持に寄与しており、利用実績も福地地区の集会所としての利用がほとんどであるほか、福地自治会から譲渡申請が出されていたことから、同自治会に無償譲渡することとした。

○平成19年8月1日から医療法人啓仁会に無償貸与している旧公立深谷病院の建物のうち、解体の対象となっている西館及び南館を同法人に無償譲渡することとした。

## 人事案件

○人権擁護委員候補者に高橋高氏、沖津研治氏、森俊英氏を法務大臣へ推薦する。



## 可決された補正予算のおもな中身は

今回の補正予算は、災害復旧事業と同時施工で実施する「釜会館」の改修に要する経費をはじめ、震災の影響により建替えが必要となった「北村保育所」及び老朽化により建替えする「特別支援教育共同実習所」の建設費をそれぞれ措置したほか、市の「地域振興民間能力活用事業計画」に位置づけられた民間事業者が実施する設備取得等に対する貸付金、石巻地方広域水道企業団への災害復旧等に係る負担金、減債基金への積立金、市債の繰上償還に係る元金償還金及び民生、水産業、その他公共施設に係る災害復旧費などについて、所要額を措置した。

また、各種事務事業の執行状況等による整理、各種特別会計への繰出金、国庫補助金等の確定に伴う歳入予算の整理なども併せて行った。

### ◆総務費では

- ・民間業者が運行する離島航路の維持及び経営支援に関する経費
- ・釜会館の改修に要する経費など

### ◆土木費では

- ・急傾斜地崩壊対策事業費負担金
- ・被災者住宅応急修理支援事業費など

### ◆災害復旧費

- ・介護施設災害復旧費
- ・鮎川漁港漁船船上架施設の災害復旧に要する経費
- ・御番所公園展望棟の建替え及び駐車場の災害復旧に要する経費
- ・観光物産情報センター(ロマン海遊21)の災害復旧に要する経費など

### ◆民生費では

- ・北村保育所の移転新築に要する経費
- ・民間保育所の整備に対する補助金など

### ◆教育費では

- ・特別支援教育共同実習所の建替えに要する経費
- ・震災文化財保護管理費など

3月6日から8日の本会議で、予算や条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

## 各常任委員会での審査

### 総務企画委員会

立体駐車場の安全対策について

**Q** 庁舎立体駐車場の安全対策として、照明のLED化と防犯カメラの設置、また通路が狭く、すれ違い時に事故が発生しているようだが、その防止対策は。

**A** 立体駐車場の照明については、庁舎に入る部分は、すでにLEDを設置しており、平成25年度においても引き続き実施し、最終的にはすべてLED化する予定である。防犯カメラは、立体駐車場の出入り口部分には設置しているが、それ以外はない。

すれ違い時の事故防止対策については、今の状況を抜本的に改善することはできないが、壁に黄色と黒の模様をつけたり、カーブミラーの設置で対応している。ほかに対応できる部分があれば検討したい。

### 環境教育委員会

不登校児童・生徒と  
適応指導教室について

**Q** 不登校児童・生徒数と適応指導教室の分散化について伺う。

**A** 平成24年10月末で小学生26名、中学生115名が不登校となっている。

適応指導教室については、震災後に遊楽館で再開しており、現在13名が通っている。適応指導教室は、登校しなくてもできない児童・生徒の心の支えとなる教室であるため、集団で学びながら、互いに共感し、高め合い、学校に戻っていく「力」をつけられる環境が必要であると考え、交通機関の利便性が良い場所に1カ所設けることが望ましいと考えている。

### 保健福祉委員会

仮設住宅入居待機者について

**Q** 現在の仮設住宅入居希望待機者数と空き状況について伺う。

**A** 平成25年3月1日現在、新規の入居希望が116件、入居者の異動希望が38件で計154件の待機者があるが、2月末現在、123戸の空きに決定しているもの、調整中のものがある。反面、自宅再建を済ませたが、退去手続きをしていない等、生活実態のない部屋が336件あり、本年の契約更新手続きの際に、退去の働きかけをしていく。

### 産業建設委員会

TPP交渉参加の影響について

**Q** TPP交渉参加による当市の農業に与える影響について伺う。

**A** 交渉参加の結果、当市の農林水産業、ひいてはほかの産業に影響を与えることは必至であり、コメや牛肉など聖域の堅持はもちろん、農業経営の規模拡大や農地集積の推進、日本ならではの高品質な農産品の育成など、県や関係団体と連携し、国に対して実情を訴えていきたい。

漁港の復旧について

**Q** 漁港の復旧スケジュールについて伺う。

**A** 当初、拠点漁港は平成25年度成27年度までの5年以内に復旧する予定であったが、技術者や資材不足が原因と思われる入札の不調により、5割程度の発注にとどまっている。

今年度から、入札参加資格登録業者を全国に拡大するなど、入札中止・不調対策に取り組んでおり、また、来年度からは、発注ロットを大型化するなど、複数年契約を視野に入れながら、業者が参加しやすい発注方法を検討したい。

放課後児童クラブ条例の一部を  
改正する条例について

**Q** 小学校4年生まで拡充したことに伴う受け入れ体制及び今後の整備方針について伺う。

**A** 今回の拡充に伴い定員数の増、新たな教室の借用及び8名の指導員の増員を考えている。今回の増設と新設を含めると、31クラブとなる。未設置は北上地区と雄勝地区であるが、教室の確保やニーズを確認しながら、設置の方向で進めたい。

# 決 議

第1回定例会において可決された決議の内容は、次のとおりです。

## 議案第1号 2020オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会の東京招致に関する決議

オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会は、世界の国と地域が参加する世界最大のスポーツと平和の祭典であり、スポーツを通じて心身を向上させ、文化、国籍などさまざまな違いを乗り越え、友情、連帯感、フェアプレーの精神を持って、世界中の人々に多くの夢と感動を与え、世界平和の実現に貢献してきた。

日本で初めて開催された1964年のオリンピック東京大会は、我が国が戦後の混乱と荒廃から復興し、国際社会の中で経済大国へと躍進を遂げた時代の象徴として歴史に刻まれている。

先のロンドン大会では、日本人選手を初め各国、地域を代表する選手たちの活躍は、無限大に広がる人間の可能性と、夢や希望のすばらしさを改めて実感させてくれた。

現在、東日本大震災からの復旧、復興に全力で取り組んでいる我が国にとって、オリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会の開催は、国民に希望を与え、復興に向けて歩む人々にとって大きな力となるものである。

また、一部競技については、本県で開催される予定となっており、このことは、東日本大震災から力強く復興した姿を世界に示すとともに、世界各国から寄せられた心温まる支援に対する謝意をあらわす好機となるとともに、最大の被災地である本市にとって、オリンピックやパラリンピックがもたらす人間の持つ可能性への限らない挑戦が、市民に夢や感動希望を与え、大きな力となることは確実である。

よって、石巻市議会は、2020年に開催されるオリンピック競技大会及びパラリンピック競技大会の日本開催を心から希望し、東京都の招致活動を全面的に支援、協力するものである。

以上、決議する。

# 第1回定例会に提出された陳情

■非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書採択について

(提出者) 宮城県原爆被害者の会  
(はぎの会) 会長 伊藤勝  
※全議員へ内容を周知し、総務企画委員会へ送付しました。審査した結果、結論を得ずとなりました。

議員全員へ参考回付しました

■湊西地区(産業ゾーン)土地地区画整理事業に対する要望

(提出者) 石巻商工会議所  
会頭 浅野亨ほか

■中島川災害復旧工事に伴う、市道拡幅と道路敷の取得について

(提出者) 中島上行政委員 佐藤達ほか

■石油製品高騰への特別対策と石油製品の適正価格・安定供給を実現する行政施策強化の意見書提出を求める陳情

(提出者) 宮城県生活協同組合連合会  
会長理事 齋藤昭子

■地方財政の充実・強化を求める要請

(提出者) 石巻市職員労働組合  
執行委員長 畑山實

■災害時相互応援協定締結に向けて

(提出者) 中津川市防災市民会議  
代表 加藤吉晴

## 第1回臨時会に提出された議案と審議結果

(平成25年1月21日開催)

### 予 算 (原案可決)

- ・平成24年度石巻市一般会計補正予算(第9号)
- ・平成24年度石巻市土地取得特別会計補正予算(第2号)

### そ の 他 (原案可決)

- ・財産の取得について
- ・工事請負の契約締結について  
(石巻市防災行政無線復旧デジタル化整備工事)  
(本庁舎災害復旧建築工事)

## 市議会ホームページ

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/d0100/index.html>  
へアクセスしてください。

石巻市議会 検索

石巻市のホームページ内に開設しています。議会に関する様々な情報を掲載しています。

議会の日程や「いしのまき市議会だより」で取り上げた内容等についても詳しくご覧頂くことができます。

定例会や各委員会の会議録も検索できます。

ぜひ  
ご覧ください!!



～ 会派代表質疑 ～

# 施政方針をただす

第1回定例会の初日、亀山市長による施政方針演説が行われ、この施政方針に対する質疑が、3月4日と5日の両日、各会派の代表7名により行われました。その中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

ふるさと石巻の  
新しい未来を切り開く

施政方針要旨

重点施策

- 一・災害に強いまちづくり
- 二・住宅の再建
- 三・産業・経済の再生
- 四・総合支所エリアの復興

主要な施策

- 市民が安心して生活するための防災対策
- 市民生活に密着したインフラの復旧
- 市民生活の復興に必要な基盤づくり
- 市民が健康に暮らせるための施策
- 絆と協働の共鳴社会づくり
- 市民生活の礎となる産業の復興に向けた基盤づくり
- 中小企業者の再生、復興



亀山 紘 市長

施政方針に対する質疑通告一覧		
		1 復興基本計画（復旧期から再生期への転換判断）について 2 震災の教訓を生かした防災体制について 3 被災インフラの復旧状況と整備方針について 4 産業復興と戦略について 5 地域医療の将来について 6 防災教育の象徴、拠点としての震災遺構について 7 被災者の住宅環境再建について 8 復興推進体制の構築について
石森 市雄 (ニュー石巻)	1 市長の政治姿勢について 2 災害に強いまちづくりについて 3 住宅の再建について 4 震災前の賑わいを取り戻し、活気にあふれた石巻を取り戻すための「産業・経済」の再生について 5 総合支所エリアの復興について 6 市民が安心して生活するための防災対策について 7 市民生活に密着したインフラの復旧について 8 市民生活に必要な基盤づくりについて 9 市民が健康に暮らせるための施策について 10 絆と協働の共鳴社会づくりについて 11 市民生活の礎となる産業の復興にむけた基盤づくりについて 12 中小企業の再生、復興について 13 今後の財政見直しについて	1 市長の政治姿勢について 2 災害に強いまちづくりについて 3 暮らしを早く取り戻すについて 4 産業・経済の再生について 5 総合支所エリアの復興について 6 市民が安心して生活するための防災対策について 7 市民生活に密着したインフラの復旧について 8 市民が健康に暮らせるための施策について 9 市民生活の礎となる産業の復興にむけた基盤づくりについて
森山 行輝 (フロンティア石巻)	1 市長の政治姿勢について 2 「災害に強いまちづくり」について 3 被災者住宅の再建と「暮らしを早く取り戻す」ことについて 4 震災前の賑わいを取り戻し、活気にあふれた石巻を取り戻すための「産業・経済の再生」について 5 「総合支所エリアの復興」について 6 震災後の財政収支見直しと財政運営について	1 市長の政治姿勢について 2 災害に強いまちづくりについて 3 市民生活の復興に必要な基盤づくりについて 4 市民が健康に暮らせるための施策について 5 市民生活の礎となる産業の復興にむけた基盤づくりについて
後藤 兼位 (グローバル石巻)	1 市長の政治姿勢について 2 「災害に強いまちづくり」について 3 「暮らしを早く取り戻す」について 4 「産業・経済の再生」について 5 「市民生活に密着したインフラの復旧」について 6 「市民生活の復興に必要な基盤づくり」について 7 「市民が健康に暮らせるための施策」について 8 「中小企業者の再生、復興」について 9 行財政改革と市政運営について	1 市長の政治姿勢について － 就任4年を振り返り－ 2 被災市民の暮らしに心寄せる市政を － 過去・現在・未来が切断了れた市民の心－ 3 生活の再建 － 住まいの確保を中心に－ 4 生業の再生 － 地域経済再生をめざして－ 5 放射能とどう向き合うか － 市民の根本的不安の解消のために－ 6 市民の願うまちづくり － 安全・安心のまちづくり－





ニユー石巻  
石森 市雄 議員

**問** 沿岸部で高齢者の健康状態悪化が増加している。市全域の実態と対策は。

**答** 全体的に悪化し、介護認定者も増加している。保健師や地域包括支援センター、専門スタッフと協力し、健康相談や運動教室を実施していく。

**問** 沿岸部の高台移転が遅れている。また跡地利用は。

**答** 設計変更、用地取得に時間を要している。跡地は今後検討する。

**問** 被災者の医療費窓口無料化が3月で終了する。延長の考えは。

**答** 国は4月以降も8割支援を表明しているが、県は2割負担が厳しい状況。市単独でその部分を負担するのは難しい。引き続き国県要望をしていく。

**問** 水産加工業界の再建が遅れている。原因は。

**答** 震災前207社のうち100社が再開しているが、放射能問題、加工原料の手配、労働力不足等がある。今後グループ補助等で再開が進むと考える。

**問** 行方不明者捜索の今後の計画は。

**答** 長面地区を中心に今後も継続していく。



フロンティア石巻  
森山 行輝 議員

・市長の政治姿勢について

**問** 市政運営に取り組む決意と所信は

**答** これまでの復旧事業についても様々な批判と評価がある中で、まさに本格復興に向けたこれらの施策により、復興が実行できる都市にすることができるか。

**答** 震災前よりももっとすばらしいまちを創り上げていきたい。

・「災害に強いまちづくり」について

**問** 石巻市地域防災計画の見直しは。

**答** 検討委員会や検討部会などを設置し、関係機関及び災対各部との調整を図りつつ進めていく。

**問** 津波避難タワーの設置は。

**答** 平成25年度に3基の整備を予定しており、渡波保育所跡地や魚町地区を候補地としている。

・震災後の財政収支見通しと財政運営について

**問** 震災後の財政運営について伺う。

**答** 経常的経費の抑制や施策の厳選による対応を継続していく。



グローバル石巻  
後藤 兼位 議員

**問** 「市長の政治姿勢」市民に対して復興の強いメッセージを発信すべきではないか。

**答** 復興を加速させるため25年度に取り組む4つの重点施策を掲げ全力で取り組む決意だ。市民に復興を実感していただくためにも私の考える復興への思いを市民の皆さんに発信する。

**問** 災害に強い道路交通ネットワークの構築は。

**答** 災害発生時の緊急輸送道路と子供や高齢者などの交通弱者の避難道路の確保に努める。

**問** 盛土道路の整備について。

**答** 県の施工であるが、早急に整備するよう強く要請する。安全なまちに戻ってもらえる施策と各地域別の道路整備が重要だと考える。

**問** 新市街地の整備や高台への宅地整備、復興公営住宅の早期供給について。

**答** 移転先の宅地整備や復興公営住宅等の住まいに関する事業を最優先と捉え、復興交付金を獲得し、一日でも早い宅地・住宅供給を行う。

**問** 住宅再建支援策、新たな支援策の構築は。

**答** 住宅取得嵩上げ補助等支援策の拡充を行う。



新世紀クラブ  
千葉 眞良 議員

・被災インフラの復旧状況と整備方針について

**問** 市内公共交通網および施設の将来像は。

市内交通事情の変化に対して市内公共交通網の整備、施設整備の将来像は。

**答** 石巻駅周辺整備事業で対応する

新たな公共交通網のあり方については、今後の新市街地形成等に伴う居住エリアの変化や主要な施設の整備、道路網の構築に合わせ、総合交通計画を策定する中で検討していく。また、石巻最大の交通結節点である石巻駅周辺の交通整備については、石巻駅周辺整備事業等により対応していきたい。

**問** 文化施設の再興について

博物館と文化ホールを併せ持った複合施設の検討状況について伺う。

**答** 平成25年度基本構想策定

平成24年度にたたき台を作成しており、平成25年度策定する基本構想の中でスケジュールを決定したい。今後、文化を軸として市民の震災復興に向かう心を育むとともに、復興後の石巻の「顔」としての役割を担う文化施設として整備するため、市民や利用団体等の意見を取り入れ、計画づくりを進める。



明心会  
高橋 栄一 議員

**問** J R石巻駅の橋上化について。

J R石巻駅については、駅北側からの利便性の向上と鉄道を挟んだ市街地の一体化を図るべく、南北自由通路を併設した駅舎の橋上化に向けて努力したい。

**問** エコ・セーフティタウン事業の導入について。

国の補助事業を活用し、市内4地区をモデル地区として事業化を進める。またその成果をもとに他地域への展開を図っていきたい。

**問** 新エネルギー関連産業の集積について

牡鹿に国内最大級の太陽光発電所と微細藻類培養施設を建設中である。  
上品山への風力発電事業化へも取り組み、災害に強いまちづくりに努めたい。

**問** 被災した北上・雄勝消防出張所の早期再建について

津波により全壊となった北上・雄勝消防出張所については、現在それぞれ総合支所に仮設で事務所を設置し運用しているが、今後は市内全体の消防署所の配置を勘案し、各地区と協議しながら対応していきたい。



公明会  
伊藤 啓二 議員

・震災復旧・復興について

**問** 入札中止・不調問題への対策は。

発注ロットの工夫を含め、どのような発注方式が復興を加速させるために適切か検討を進める。

**問** がけ地近接等危険住宅移転事業について大臣告示以前に新築した被災市民への救済策は。

本年2月に宮城県から追加交付されたところであり、市の独自支援策との整合性を図りながら拡充を検討している。

・国営復興祈念公園について

**問** 「がんばろう石巻」の看板で多くの被災者が勇気づけられた。公園内に保存する考えは。

保存する方向で、どんな風な保存の仕方があるのか検討したい。

・放課後児童クラブについて

**問** 放課後児童クラブを6学年まで拡大する考えは。

平成25年度は4学年まで拡大し、新たな余裕教室の確保等、実情を見据えながら検討する。



日本共産党石巻市議団  
庄司 慈明 議員

・復旧期から再生期の大切な一年  
リーダーとしての政治姿勢を問う

**問** 市長就任以来4年が過ぎ、市長としての初心を問うと共に、被災により過去・現在・未来が切断された市民の心に寄り添う市政を実現する重要さについて見解を伺う。

**答** 市民と行政との協働のまちづくりが政治姿勢であり、市民のための政治が政治信念である。

**問** 子ども医療費の入院中学3年生までの無料化の施策はその典型と評価している。さらに言えば職員が市民と接する場合においても、協働のまちづくりを実感するものでなければならぬと認識するが、見解を伺う。

**答** 非常時の今、平常時の対応でよい場合だけとは限らないことを念頭に置き、職員の対応がなされるように努力したい。

**問** 女川原発の再稼働についての見解は？

**答** フクシマは大変重要な問題。その検証・解決が再稼働の前提となり、極めて慎重に対応することが必要と考えている。

※この他、生活の再建、なげわい生業の再生、安全・安心のまちづくりについて議論しました。

## 特別委員会活動報告

### 総合防災対策特別委員会

平成25年2月15日、総合防災対策特別委員会を開催し、『石巻市地域防災計画の改訂について』説明を受けました。

今回の改訂では、津波災害対策編を新たに策定するもので、人命が失われないことを最重視し、経済的被害を最小化する「減災」の考え方を基本方針に掲げ、さまざまな対策を組み合わせる津波災害に備える計画となっています。

課題となっている住民への情報伝達方法や避難計画、職員の現場での安全対策などについて、意見が交わされました。



▲総合防災対策特別委員会の様子

### 東日本大震災復興促進特別委員会

平成25年2月18日、東日本大震災復興促進特別委員会を開催し、河北地区、雄勝地区の復旧復興状況について、現地調査を行いました。釜谷、長面、間垣地区の現状、名振防災集団移転候補地、名振漁港、雄勝地区仮設店舗などを視察しました。



◀東日本大震災復興促進特別委員会現地調査の様子

# 一般質問

議員17人が登壇  
市政を問う!

第1回定例会の一般質問は、3月19日、21日、22日及び25日の4日間行われました。今回は17人の議員が、市政全般にわたり市当局の見解をただしました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員が自ら、市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

一般質問通告一覧 (※議員名の前に付いている番号は質問順序です)	
<p>①千田 直人</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>J R 東日本石巻線等整備促進要望について</li> <li>市税等コンビニ収納及び状況について</li> <li>合併引き継ぎ事業のその後について</li> </ol>	<p>⑨丹野 清</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災2年目を迎えて</li> <li>復興対策について</li> </ol>
<p>②遠藤 宏昭</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市民がいて初めて石巻市が成り立っていることを忘れてはいないか</li> </ol>	<p>⑩櫻田 誠子</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>健康対策について</li> <li>未来を担う子どもたちについて</li> <li>リサイクル等について</li> <li>被災者支援について</li> </ol>
<p>③安倍 太郎</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市政運営について</li> <li>震災復旧・復興について</li> </ol>	<p>⑪堀川 禎則</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>デスティネーションキャンペーンについて</li> <li>雨水排水対策について</li> <li>震災伝承と遺構について</li> </ol>
<p>④大森 秀一</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>防災計画について</li> <li>雄勝の有価物横領事件について</li> <li>土地改良区への助成について</li> </ol>	<p>⑫水澤富士江</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>被災者に寄り添った生活再建支援策を</li> <li>虐待防止センターの充実について</li> </ol>
<p>⑤長倉 利一</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>仮設住宅の概念、現状及び将来展望について</li> <li>敬老会について</li> <li>目的税である「都市計画税」について</li> </ol>	<p>⑬西條 正昭</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災からの復旧・復興について</li> <li>被災地域中小造船業復興支援事業について</li> <li>北上地域の諸課題について</li> </ol>
<p>⑥青山 久栄</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>防災について</li> <li>産業の再生について</li> <li>住環境の整備について</li> </ol>	<p>⑭高橋 誠志</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>農林業復興策について</li> <li>避難道路（渡波・稲井線）を有効活用するために</li> </ol>
<p>⑦山口荘一郎</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>復興における子育て政策について</li> <li>復興に向けた提案型職員の育成について</li> </ol>	<p>⑮阿部 正敏</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>牡鹿総合支所地域における震災復旧から復興へ</li> <li>山下地域における震災復旧から復興へ</li> <li>地域自治システム導入について</li> <li>地域における防災について</li> </ol>
<p>⑧渡辺 拓朗</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>被災者支援について</li> <li>津波復興拠点整備事業について</li> </ol>	<p>⑯阿部 純孝</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>市長の政治姿勢について</li> </ol>
	<p>⑰黒須 光男</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>崩れる亀山市政の実情と責任問題について</li> </ol>



千田 直人 議員

・JR東日本整備促進要望について

**問** 新蛇田地区並びに新蛇田南地区の被災市街地復興土地画事業は災害公営住宅等2、180戸、約5、570人の新市街地が誕生する。通勤・通学等交通の利便性確保には新駅の設置は欠かせない。対応を伺う。

**答** 仙石線が全線開通する平成27年度に併せて設置されるようJRと協議を進めている。

・市税等コンビニ収納について

**問** 震災復興の現況下、市民は各種事務の簡素化、身近な場所での納付を求めている。早急にコンビニ収納サービスを実施すべきである。対応を伺う。

**答** 平成25年度から準備し、市税や保育料、下水道負担金、奨学金返納等について、店舗内の現金自動預払機により、平成27年度から実施する。

・合併引き継ぎ事業のその後について

**問** 三陸道、桃生津山付近PA整備事業、その後如何なる状況なのか、経過を伺う。

**答** 近年4車線化整備が推進されている。実現に向けて仙台河川国道事務所に要請中である。

**問** 県道河北・桃生線付け替え工事中だが、総合支所の正門など同時完成すべきである。対応を伺う。

**答** 進入路及び案内板設置済みであり、改良事業の進捗に合わせ施工を実施することとなっている。



遠藤 宏昭 議員

・市民がいて初めて石巻市が成り立っていることを忘れてはいけない

**問** 議会基本条例に基づく「議会報告会」を開催したところ、市民からの厳しい声、生の声を聴くことができた。議会・行政そして市長への不平不満もあった。復興に向けてがんばっている市民に対して、市長の今後のまちづくりの考え方・ヴィジョンを積極的に発信すべきだと思うが、いかがか。

また、市長は市民の代表である。市民との間に気持ちの面で距離があったり、気兼ねがあったりしては良い市政運営はできない。何事も閉鎖的では「疑心暗鬼」になり、見えるはずのない鬼の姿まで見えるようになる。市長には市政運営に関する説明責任があり、透明性も求められるが、どうお考えか。

**答** 震災後は、全市域を対象とした広聴事業は開催できず이었다。情報発信は、市民協働のまちづくりを推進するうえで、最も大切なことであり、議員ご指摘のとおり、積極的に行動していく。



▲解体後、新築される向陽小体育館



安倍 太郎 議員

**問** 借上げ住宅は旧市内の市街化区域に限定されている。また、一団地20戸以上と定められているが、要件の緩和について。

**答** 一団地20戸及び募集区域等の要件を見直しして、早期整備を図ることを検討する。

**問** 一団地20戸以上という基準は、国県等の建設費補助要綱に記載されているのか。

**答** 国県制度で明確に規定されているものではなく、石巻市独自の運用基準である。

**問** 災害公営住宅の入居条件緩和について。

**答** 住宅敷金の全額を免除する。連帯保証については、個別に相談し判断する。

**問** 上品山に風力発電所事業化可能との報道について。

**答** 県の自然エネルギー・省エネルギー基本計画策定に合わせ、民間事業者と協議しながら、機会を的確に捉え県に要望する。

**問** 集団移転用地の二子南下地区の、小中学校の学区割について。

**答** 大谷地小、河北中学校の通学が基本となる。

**問** 行政（区長）委員の報酬改善について。

**答** 今後、財政状況を勘案し、検討していきたい。



大森 秀一 議員

・防災計画について

**問** 12月7日津波警報では車での避難者で大渋滞となった。避難弱者を含めた避難計画について伺う。

**答** 効果的な避難路の設定や地域ごとに自動車使用のための合意形成を行う等、ハード、ソフト両面から対策を講じていく。

**問** 災害時、一般の避難所での生活困難な高齢者や障害者ら要援護者らを受け入れる福祉避難所の必要性について伺う。

**答** 福祉事業者との災害発生時の災害時要援護者の受け入れ協定締結を推進しており、19法人26施設との協定締結をした。今後も市内外の施設との協定締結を推進していく。

・土地改良区への助成について

**問** 3・11東日本大震災は農業施設へ甚大な被害をもたらした。多額の助成なくして農業の再生は厳しい状況にある。市の対応について伺う。

**答** 農業の復旧・復興のためには、土地改良区の経営安定が必要不可欠である。今後も土地改良区と協議を重ねながら、経営安定に向けた支援策について検討していく。



長倉 利一 議員

・応急仮設住宅について

**問** 借り上げた土地の地権者との契約年数と契約満了した場合の借り上げ期間の延長等の考えは。

**答** 市が借用している民有地の契約年数は四年間で無償である。防災集団移転事業や災害公営住宅等の住まいの受け皿が確保ができない場合は、契約期間の延長をお願いする。

・敬老会の開催について

**問** 対象者やその家族、関係者から「形骸化している」などの苦言が呈されているが、対象者の意向を反映させるための対策を検討されているのか。

**答** 昨年8月に実施した調査では、現行のとおり市主催により、旧市町村単位で実施した方が良いという回答が多かった。長年にわたり社会に尽くされた高齢者の方に感謝し、長寿を祝うため、市が主催する敬老会としては、式典を重視した内容が望ましいと考えている。

・目的税である「都市計画税」について

**問** 河南地区に課税決定した都市計画税の総額とその用途は。目的税であるのに同地区に運用されない現状では、税の公平性を唱える法に抵触しないか。

**答** 課税した都市計画税は約三千万円である。街路整備や下水道整備事業等のため借り入れた市債の償還に充てている。



青山 久栄 議員

・風力開発事業の導入について

**問** 上品山周辺地域の事業導入と工業港における市民・県民風車の設置は復興のシンボルとして有効と考えるがいかがか。

**答** 風力発電導入は地域の産業振興にも繋がる。前向きに検討したい。

・6次産業化の取り組みについて

**問** 6次産業化法が施行されてから2年が過ぎ、各地で取り組みが活発化している。そのメイン施策とも言うべき総合化事業計画の認定件数は石巻市ではゼロである。なぜか。

**答** 震災にみまわれ取り組みが遅れた。スピードを早めて農林漁業者の雇用と所得を確保し、定住促進に繋げたい。

・危険区域指定外地区の面的整備について

**問** いよいよ住宅の再建が始まるわけだが、被災前から市道の取り付けが悪い地区が多い。更地化している今が改良の好機ではないか。

**答** 被災市街地復興推進地域については土地区画整理事業や再開発事業による整備を行う。地域外については、地域の実情に応じて避難路などの基盤整備により、良好な住環境の整備を図りたい。



山口 荘一郎 議員

・復興における子育て政策について

問 お産施設減少により、人口の自然増が難しい状況が続いている。産科医を含む医師確保策として2市1町での医学生奨学金基金を検討してはどうか。

答 医学部新設要望などに加えて、助産師、看護師の現行の奨学金制度活用を促す。医学生奨学金については、課題はあるが検討してみる。

問 保育所待機児童の解消策は。

答 保育所新設で220人分の保育を確保できるが、希望入所先とのミスマッチまでは解消し得ないため、継続して解消に努める。

問 放課後児童クラブ対象学年拡大について

答 保護者ニーズの高いところほど施設に余裕がないというジレンマもある。法改正までに具体的な方策を検討していく。

・復興に向けた提案型職員の育成について

答 他自治体派遣職員からの刺激は職員の資質向上につながる。市民目線に立つ担当部署の意見は非常に重要であり、職員が町内会などで地域と共に活動する姿勢を推奨したい。



渡辺 拓朗 議員

・被災者支援について

問 津波被災者住宅再建復興交付金要綱は幅の広い被災者救済の観点に立つべき。

答 県の最終要綱案に基づいて自宅を失った被災者を幅広く支援できるように検討する。

問 避難世帯の方々の住宅再建へのシミュレーションと変化に対する対応策は。

答 現時点においては全ての方々が新たな住宅に再建できるものと予想している。今後意向調査を重ねながら、被災者が仮設住宅から一日でも早く住宅再建できるよう取り組む。

・津波復興拠点整備事業について

問 津波復興拠点整備事業の内容と進捗を伺う。

答 防災力の強化を視점에産業施設や公益施設などを集約する方向で事業費確保のため、県と連携し検討している。

問 津波復興拠点は森林資源が豊かである事から、津波復興拠点の雇用の創出に林業再生を視野に入れた計画を立てるべき。

答 石巻市震災復興計画においても、未利用間伐材などを利用したバイオマスエネルギーの活用を推進することとしている。津波復興拠点の新たな地域づくりのため、県と関係機関と協議していく。



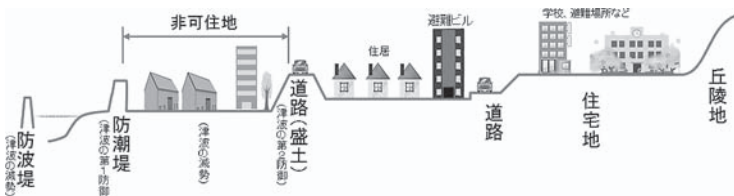
丹野 清 議員

・多重防御の安全性と効果について

問 防潮堤と高盛土道路による多重防御の安全性と効果について伺う。

答 大津波対策の基本的な考え方として、石巻湾沿岸の背後に平地が広がる地形のため、防潮堤のほか、道路や緑地を高盛土構造にして堤防の役目を持たせる「多重防御」により、災害に強いまちづくりを行うものである。

百数十年程度の頻度で発生する津波は、第一防御として防潮堤などで対応し、これを超える数百年程度の頻度で発生する大津波には、第二防御として防潮堤の背後に設ける高盛土道路などとの組み合わせで対応しようとするものである。第二防御となる高盛土道路などの設定にあたっては、岩手県・宮城県・福島県沿岸部における今次津波の津波遡上高や遡上域などの調査を基に提案された東北大学モデルの津波シミュレーションを用いて、有識者の指導のもとに解析を行い、効果が見込める防御施設の位置、高さを設定している。





櫻田 誠子 議員

・健康対策について

**問** 胃がんを未然に防ぐために慢性胃炎でのピロリ菌除菌が保険適用された。従来の胃がん検診は高齢者等の負担が大きい。今後ピロリ菌検査を取り入れ、受診しやすい環境づくりをすべきと考えるが、保険適用は市報で周知し、ピロリ菌検査については今後検討する。

**問** 平成25年度にHPV検査が予算化された。ワクチンが定期接種化され、検診とHPV検査で子宮頸がんは撲滅できる。必ず実施すべき。

**答** 国の動向をみて取り組む努力をする。

**問** 体と心が共に健康である事が大事であり、心拍変動によるうつ病リスクチェックの導入や認知行動療法なども取り入れるべき。

**答** からころステーションでの訪問支援を行っている。リスクチェック、認知療法は検討する。

・被災者支援について

**問** 復興公営住宅の入居者が集える場の配置、グリーンケアでのコミュニティの構築、ペット飼育希望者への入居可能場所を明確にすべきではないか。

**答** 9月を別途とし、事前登録制を実施。円滑な移転を促進する。入居希望の10%がペット飼育希望があり専用棟の建設を行う。植栽等できる限りの環境整備を図る。見守りの継続、家賃の低減延長の要望を行う。



堀川 禎則 議員

・雨水排水対策について

**問** 蛇田ポンプ場建設の進捗と今後の予定は。

**答** 震災の地盤沈下で設計見直しをしている。平成25年度から土木工事、平成28〜29年度にポンプ設備工事の予定である。

**問** 蛇田新市街の雨水排水の行き先と対応策は。既設水路となる。現状ではポンプ車の配置で対応する。

**問** 新市街地の雨水排水は、既存水路以外に考える必要があるのではないか。

**答** 新たなポンプ場を検討している。

**問** 新市街地完成前にポンプ場は完成しないか。

**答** 少しでも早く完成させたい。水害の起こる前と考えている。

・震災遺構について

**問** 残すべき遺構は決まったか。

**答** 後世に伝える義務がある。慎重に議論を進めて、残すものを決める。

**問** 残すものの候補を決めて時間をかけて、決定して行くべきではないか。

**答** 県の方針も示され、意見を聞いて時間をかけて結論を出す。

**問** 遺構についてフォーラム等が出来ないか。判断の方法として検討する。



水澤富士江 議員

・被災者の医療費、介護保険料減免の継続を

**問** 住宅再建など、先の見通しがたたない中、国の財政支援が後退している。昨年の9月までは全額国負担で減免。その後、国が8割、県が2割負担で継続していたが、4月から打ち切る方針となった。

長期化した避難生活で被災者の半数以上が体調不良を訴えている。希望を示す支援策を強める時である。あらゆる手だてを講じ、継続すべきではないか。

**答** 被災者の生活再建が未だ途中である事から、国や県に対し財政支援を要望している。全額支援がなければ、継続困難である。

・虐待防止センターの充実を

**問** 仮設住宅等の狭いスペースで長期間避難生活中、DV、高齢者・児童虐待、閉じこもりなどが増えている。センターの充実とともに相談できる保健師の適正配置をすべきと考えるが。

**答** 復興途上、ケアが必要な人がいるので、検討する。





西條 正昭 議員

・東日本大震災からの復旧・復興について

問 世界に誇れる道路・交通ネットワークについて伺う。  
答 復興道路の整備については、国県より大変厳しい査定を受けている。これからも必要性を訴えていきたい。

問 集団移転先の上・下水道の整備と地盤沈下による雨水排水対策について伺う。  
答 新たなポンプ場の設置を検討している。

・被災地域中小造船業復興支援事業について

問 国では復興庁予算として新たに160億円予算化している。水産都市石巻市として国の政策に對しどのように考えているのか伺う。  
答 造船業の早期復興に向けて、当該補助金の活用が不可欠である。積極的に支援して行く。

・北上地域の諸課題について

問 国道398号北上大橋から小指までの高台移転について伺う。  
答 小泊地区から小指地区だけが事業採択され、北上大橋までは認められない。国県に要望する。  
問 危険地域に指定された跡地利用について伺う。  
答 地域住民の意向や地域ごとの実情を反映させながら計画を進めたい。

問 高台への集団移転について伺う。  
答 小室、小指、釜谷崎地区は事業に着手する。その他の地区は合意が得られ次第、実施設計を進めていく。  
問 公共施設の集約化について伺う。  
答 被災した各公共施設をにつくりサンパーク周辺に集約させ、防災拠点エリアとして整備を進める。



高橋 誠志 議員

・農林業復興策について

問 植物工場の可能性について伺う。

答 農業従事者の高齢化や後継者不足等の問題を抱えている農業の振興、さらには、東日本大震災からの復興を目指す本市にとつては、6次産業化の新たな切り口の一つとして、非常に期待できるものと認識する。植物工場の誘致に向けて「アグリクラスター基本構想及び実施計画」の策定を目指す。本市への立地に関しては数社から申し出を受けている。本市の優位性をアピールしながら立地を推進する。

・避難道路（渡波・稲井線）を有効活用するために

問 避難車両のための駐車スペース確保について、井内新栄地区を考えてはいかがか。

答 避難は原則徒歩でしていただくことになっていく。一方で災害時要援護者の方々などは、どうしても車での避難が必要となる。また、避難行動を見れば車での移動が大方を占めている。石巻警察署など関係機関と協議をしながら、議員提案の駐車スペースの確保に努めていきたいと考えている。



阿部 正敏 議員

問 高台移転事業において既存道路整備が可能なのか。

答 幹線道路への接続において不都合が生じないように移転地造成計画等の中で策定し整備する。

問 寄磯線道路幅員整備について。

答 落ち蓋による整備によって0.5〜1m拡幅整備を25年度内に着工する。

問 山下地域における釜幹線水路の埋め立て後の利活用について、地域住民の意見を採用すべきではないか。

答 これまでも釜幹線水路の維持管理について、山下町連と協議を進めてきた経緯がある。今後地域住民と釜幹線水路等の整備等地域課題に取り組む。

問 地域自治システムについて、どう地域住民に働きかけて参加を呼びかけるのか。

答 自治会、町内会、NPO、企業等も含め地域における役割を果たしながら、パートナーとして連携・協力して取り組む。

問 津波災害における対応として明神山、山下町については、避難者の受け入れ対応を市と山下小学校、町内会と協議すべきではないか。

答 抜本的な防災マニュアルの見直しに伴い関係者との協議を進める。



阿部 純孝 議員

・市長の政治姿勢について

**問** 就任以来、1期4年の市政運営に対する総括と検証をされているかと思われるが、いかがか。

**答** 就任当初から、市民参加型の協働によるまちづくりを進めるため、四つの基本政策を柱として、本市の更なる発展を目指し、市政運営に当たってきた。震災以降は、被災した市民の皆様の暮らしを一日も早く取り戻す事を最優先に震災からの復旧・復興に全身全霊を傾注し、引き続き全力で取り組んで参りたい。

**問** 過日、行政報告のあった倒壊家屋、事務所等解体撤去業務受託業者の作業による有価物窃盗事件に係る被害届及び告訴について、平成24年8月21日に情報提供があつてから、告訴までの経緯について、改めて伺いたい。

**答** 解体現場から不正に持ち出された被害品は、ブリキや鉄骨等で22万890キログラム、金額にして44万7、588円相当であることを確認し、顧問弁護士の助言をいただきながら、9月6日に宮城県河北警察署に事件相談を行った。その後、弁護士相談や警察署への捜査協力、関係局部内での協議を踏まえ、3月8日に被害届の提出と併せて告訴した。災害時における事務処理の適正な処理についての様に検討されたのか伺いたい。

**答** 発災初期から限られた職員の中で必要な職員を配置することができない状況であつた。結果的に適正な事務処理が行えなかつたことを考え、災害の状況に応じた組織体制の確立の必要性を痛感した。今後の復興に向けた適切な事務処理を一層加速させるため、組織機構の見直しを進めている。



黒須 光男 議員

**問** 全国から善意の義援金が集まり感謝するものですが、その際、石巻市やガレキ処理で疑惑が持たれている建設会社の代表が兼務するボランティア団体に対する受渡しに、亀山市長の後援会長が同席しており、行政への関与との疑念が持たれており問題ではないのか。

**答** 同氏は、石巻専修大学の1回生でもあり、よく知っている。4年前は後援会長であつたが後援会組織は終了しており、後援会長として仲立ちを取つたことではない。

**問** 県選挙管理委員会に届いている政治団体一覧を見ると、四年間変わらず後援会長は同氏となつており、その答弁だとすると公職選挙法違反になるのではないか。

——（会議を止めて実情調査）——  
**答** 政治団体一覧を見ると四年間同氏となつており、私の認識が甘かつた。反省いたします。

お詫びと訂正

2月13日発行の議会だよりNo.33の千田直人議員の一般質問記事の掲載内容（P8）に誤りがございました。

正しくは左記のとおりです。

**正** 市民の声を反映して見直すべき

**誤** 市民の声を見直すべき

訂正してお詫び申し上げます。

ご意見拝聴



議会運営について皆様のご意見をお聞かせください。

石巻市議会では、市民福祉の向上を目指し、開かれた議会運営に努めており、市民の負託にこたえるため「市民の聲」を実施しています。

提案や意見は、議場傍聴席に設置している提案箱への投函、郵送、電話、ファクシミリ、電子メール等により随時受け付けています。

《石巻市議会事務局》

〒986-8501 石巻市穀町14番1号  
TEL (95)1111(代表)  
FAX (96)2274  
E-mail assesc@city.ishinomaki.lg.jp

## 宮城県議会との意見交換

平成25年1月29日、宮城県議会 大震災復旧・復興対策調査特別委員会と石巻市議会 東日本大震災復興促進特別委員会との意見交換が行われました。

現在の石巻市の復興の進捗状況及び課題について説明の後、意見交換が行われました。



◀▲宮城県議会大震災復旧・復興対策調査特別委員会と東日本大震災復興促進特別委員会との意見交換の様子



石巻市の復興の進捗は？



## 新しい市議会議員をご紹介します

(4月21日実施の補欠選挙による当選)

平成25年4月21日に石巻市議会議員の補欠選挙が行われ、新たに5人の議員が誕生しましたのでお知らせ致します。

- |       |
|-------|
| ①氏名   |
| ②住所   |
| ③生年月日 |



あべ としき  
①阿部 利基  
②中里七丁目1番6号  
③昭和54年1月24日  
(※左から届出番号順)



こんどう たかし  
①近藤 孝  
②須江字瓦山前135番地  
③昭和25年3月12日



あべ まさはる  
①阿部 正春  
②渡波字祝田の壱11番地3  
③昭和30年5月1日



しゅとう ひろし  
①首藤 博敏  
②桃生町新田字新墾88番地2  
③昭和34年1月6日



あべ よしはる  
①阿部 吉治  
②渡波字新沼178番地  
③昭和19年3月31日

## 石巻市議会豆知識

???



### Q 議決ってなに？

A 市長や議員から提出された議案等を審議して、市議会の意思を決めることを議決といいます。

議決する主なものは、条例の制定・廃止、予算の決定、決算の認定、契約、財産の取得・処分などです。

# 議会の動き

## 2月

- 4日 産業建設委員会
- 6日 全国市議会議長会評議員会（東京）
- 8日 宮城県市議会議長会春季定期総会
- 15日 総合防災対策特別委員会
- 18日 東日本大震災復興促進特別委員会
- 19日 新潟県南魚沼市議会、徳島県藍住町議会行政視察来石
- 22日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 25日 保健福祉委員会
- 26日 市議会第1回定例会開会（～3月26日まで）  
本会議（施政方針演説）

## 3月

- 1日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 4日 本会議（施政方針質疑）
- 5日 本会議（施政方針質疑）
- 6日 本会議（条例案審議）
- 7日 本会議（当初予算案審議）
- 8日 本会議（追加議案審議）
- 11日 東日本大震災犠牲者石巻市追悼式
- 12日 総務企画委員会



- 13日 環境教育委員会
- 14日 保健福祉委員会
- 15日 産業建設委員会
- 18日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 19日 本会議（一般質問）
- 21日 本会議（一般質問）
- 22日 本会議（一般質問）
- 25日 本会議（一般質問）  
議会運営委員会
- 26日 本会議（委員長報告、追加議案等審議）、閉会  
議会運営委員会

## 4月

- 16日 長崎県佐世保市議会、愛知県豊橋市議会行政視察来石
- 18日 第65回東北市議会議長会定期総会
- 21日 石巻市長選挙、石巻市議会議員補欠選挙
- 23日 総務企画委員会

# 編集後記

厳しい寒さの冬から、桜の便りが聞こえる時期まで、約1ヶ月間の第1回定例会が開かれました。会期中、東日本大震災から2年目の3月11日、犠牲になられた方の3回忌を迎えました。あらためて心からご冥福をお祈りいたします。市主催の慰霊祭では冒頭、市民コーラスによる「花は咲く」が合唱されました。“・・・わたしはなつかしいあの街を思い出す 叶えたい夢もあった・・・”

2年が経ち、防災集団移転先の造成が始まった等、復興の槌音が聞こえてきました。

一方で、「心が折れそうになる」という被災者の立場に立った支援策、復興推進が強く求められています。なんととっても住まいの再建策が急がれます。

この議会だよりが届く頃には、第2回議会報告会が各地で開かれます。ぜひ、多くの市民の皆様、ご参加ください。

広報広聴委員会委員 水澤富士江

## 表紙から

## 議長・副議長の選挙結果

### 【議長選挙】

- 投票総数 29票
  - 有効投票 29票
  - 無効投票 0票
- 有効投票中
  - 阿部欽一郎 16票
  - 千田 直人 13票

### 【副議長選挙】

- 投票総数 29票
  - 有効投票 27票
  - 無効投票 2票
- 有効投票中
  - 長倉 利一 15票
  - 千田 直人 11票
  - 高橋 栄一 1票

